

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	311	施策	生きがいづくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

1	所管 室課	福祉総務室	事業名	高齢者生きがい対策事業	
事業概要					
ふれあい昼食会事業補助					
活動実績					
地区福祉委員会が年4回を超えて実施したふれあい昼食会の一部に対して、(福)吹田市社会福祉協議会を通じて助成するふれあい昼食会事業補助事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら手法を工夫し、「ふれあい外出配食」として引き続き実施した。 (平成30年度 10,934人、令和元年度 9,848人、令和2年度 5,273人) ・参加人数9,750人(決算額：1,520千円)		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額 (千円)	0	1,520	※課題があるものは■
		一般財源の比率(%)	0.0	94.7	☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☒ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		令和3年度は、令和2年度に引き続き、ふれあい昼食会の実施形態を工夫したことにより、参加人数が増加した。本事業を通じ、一人暮らしの高齢者が外出し、地域住民とのコミュニケーションを図るきっかけとなっている。その中で、生活課題を抱える高齢者については、個別に相談・対応している。			今後の実施計画の方向性・内容
継続					

2	所管 室課	高齢福祉室	事業名	シルバーワークプラザ管理事業	
事業概要					
シルバーワークプラザ管理、シルバー人材センター補助					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
シルバーワークプラザの管理運営とともに、高齢者の就業機会の増大等の推進を目的に、生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対し、臨時的・短期的な仕事を提供するシルバー人材センターへの補助を実施。 ・シルバー人材センター会員数：1,921人（令和4年3月31日現在） 1,966人（令和3年3月31日現在） 2,050人（令和2年3月31日現在） 1,969人（平成31年3月31日現在）		決算額（千円）	33,539	18,426	
		一般財源の比率（％）	98.3	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☒ 有効性
		当該団体の事業が高齢者の就業・社会参加の促進、生きがいの充実、市の施策に寄与しているため、市として補助を行う。 令和3年度のシルバー人材センターの会員目標数を2,245人としていたが、実際の会員数は1,921人であり、目標に達していない。			☐ 効率性
					☐ 公平性
			☐ 持続可能性	今後の実施計画の方向性・内容	
				継続	
				高齢者の就業促進等、市の施策に寄与しているため、補助を行う。	

3	所管 室課	高齢福祉室	事業名	ふれあい交流サロン補助事業	
事業概要					
ふれあい交流サロン補助					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団体に補助金を交付した。 ・ふれあい交流サロン事業運営団体数：8団体 ・延べ利用者数：23,125人（うち介護予防取組利用者：2,519人） ・令和3年度開所状況： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日～6月20日・8月2日の期間、休所を依頼した。 その他の日程での開所については団体判断とした。		決算額（千円）	1,753	2,427	
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☒ 有効性
		高齢者から乳幼児までの市民が気軽に利用することで世代間交流の場となり、高齢者が集う場として閉じこもり対策に寄与している。ふれあい交流サロンの設置目標を12か所としていたが、令和3年度は実施数は変わらず8か所であり、まだ設置数が足りていない。			☐ 効率性
					☐ 公平性
			☐ 持続可能性		
			今後の実施計画の方向性・内容		
			継続		
			12か所の設置目標を達成するため、引き続き運営団体の募集を行う。		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	311	施策	生きがいづくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

4	所管 室課	高齢福祉室	事業名	敬老事業	
事業概要					
地区敬老行事開催、長寿祝賀、寿祝品贈呈					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1) 地区敬老行事開催 ・75歳以上の高齢者を対象に、地区敬老行事を開催する各地区敬老行事運営委員会に対し補助金を交付した。 補助金交付団体数：28団体 参加者数：35,202人 (2) 長寿祝賀 ・令和3年9月1日現在で市内に居住する令和3年1月～令和4年3月に100歳となる高齢者に祝金を贈呈した。 祝金贈呈者数：98名 ・本市に居住する当該年度中に結婚50年を迎える夫婦（金婚夫婦）に祝状を贈呈 祝状贈呈組数：113組		決算額（千円）	13,484	41,833	
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		当該事業の対象者数は今後も増大し、それに伴い事業費が拡大していく見込みである。長寿祝賀については、令和3年度から対象者を100歳の方のみとし、寿祝品贈呈と統合し再構築を行ったが、地区敬老行事開催については運営団体の負担が増加する見込みであり、今後、運営方法等の見直しの検討が必要である。	
		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容			
		継続			
		運営方法等の見直しについて、今後関係団体と調整していく。			

5	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いきいの家管理事業	
事業概要					
高齢者いきいの家管理（指定管理者施設管理）					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
高齢者の相互交流と社会参加を促進するとともに、福祉の増進を図るために設置している当該施設の管理運営を実施。令和2年度より指定管理者制度を導入。 ・ 決算額内訳 合計 16,828千円 指定管理料 16,165千円 外壁改修工事に係る石綿含有・分析調査 297千円 新型コロナウイルス感染症対策に係る自動水洗整備業務 277千円 第三者モニタリング委員報酬 8,400円/回*2回*5 84千円 施設賠償責任保険料 5千円 ※指定管理料について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約4か月休館したことで、年度協定額より減額した（△21千円）。 ・ 延べ利用者数：5,492人		決算額（千円）	15,574	16,828	
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☒ 有効性
		第三者モニタリングにおいても指摘があったが、施設の認知度が低いことが、利用者数が少ない原因だと推察される。今後は、施設の認知度を上げる更なる取組を実施し、利用者数の増加に努める。			☐ 効率性
					☐ 公平性
			☐ 持続可能性		
			今後の実施計画の方向性・内容		
			継続		
			施設の認知度を上げる更なる取組を実施し、利用者数の増加に努める。		

6	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いきいの間管理事業	
事業概要					
高齢者いきいの間管理					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1) 令和3年度開館状況 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月9日から8月2日まで休館した。 (2) 令和3年度利用状況 ・開館中も利用人数の上限数を課したため、 35館合計の利用人数16,404人、1館当たり469人、 35館合計の稼働日数1,939日、1館当たり55日、1日に9人利用となった。		決算額（千円）	4,926	11,686	※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☒ 有効性
		維持管理については、施設の経年劣化が激しく、適宜修繕を行っており、修繕等の維持管理費が一定額必要となっている。 また、施設は和室や段差が多く、バリアフリーの観点から、大規模修繕や建替え時に、洋室化や段差解消等を実施する必要がある。			☐ 効率性
☐ 公平性					
☐ 持続可能性					
			今後の実施計画の方向性・内容		
			継続		
			適宜修繕を行うとともに、バリアフリー化を実施する。		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	311	施策	生きがいづくりと社会参加の促進
-------	-----	----	-----------------

管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部
------	-----------	------	-----

7	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい活動センター管理事業
事業概要				
高齢者生きがい活動センター管理（指定管理者施設管理）				
活動実績				
高齢者の相互交流と教養向上を促進するとともに、生きがいづくりの拠点として設置している当該施設の管理運営を、指定管理者制度により実施。		年度	R2	R3
・決算内訳 合計 12,024千円 指定管理料 11,940千円 指定管理者候補者選定委員会 委員報酬 8,400円/回*2回*5人 84千円		決算額（千円）	11,791	12,024
※指定管理料について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約4か月休館したことで、年度協定額より減額した（△63千円）。		一般財源の比率（％）	100.0	100.0
・延べ利用者数：27,555人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		令和3年度の高齢者生きがい活動センターの利用者目標数を53,826人としていたが、実際の利用者数は27,555人であり、目標に達していない。これは、新型コロナウイルス感染症対策のため約4か月休館していたこと、歌唱等における利用定員を削減したことが主な理由である。引き続き、感染対策を講じながら、講座内容や広報の見直し等を実施し、利用者数の回復に努める。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き感染対策を講じながら、利用者数の回復に努める。

8	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい対策事業
事業概要				
高齢クラブ活動補助、高齢者友愛訪問、在日外国人高齢者給付金支給、いきがい教室開催、高齢者団体用福祉バス貸付				
活動実績				
(1) 高齢クラブ活動補助金 高齢クラブ数197クラブ、会員数11,517人に対して、高齢クラブ会員数50人以上のクラブに年額57,600円、30人以上49人以下のクラブに34,560円、吹田市高齢クラブ連合会に1,268,520円を交付した。		年度	R2	R3
(2) 高齢者友愛訪問 寝たきり又はひとり暮らしで適切な助言や連絡を必要とする75歳以上の高齢者を訪問・激励する事業を受託した吹田市高齢クラブ連合会に対して、5,876,800円の委託料を支払った。訪問対象者数：寝たきり高齢者22人、独居高齢者3,046人、高齢世帯1,114世帯、その他17人で合計4,199件		決算額（千円）	19,698	25,785
(3) 在日外国人高齢者給付金支給 大正15年4月1日以前生まれの支給対象者に対して月額1万円を支給した。支給対象者：3名		一般財源の比率（％）	78.6	82.4
(4) いきがい教室開催 60歳以上の者を対象に1回2時間程度の教養講座を16科目（4科目中止）開催し、高齢者の生きがいづくりの充実に支援した。延べ受講者数：2,274人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
(5) 高齢者団体用福祉バス貸付 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月～令和3年9月、令和4年1月～令和4年3月の期間は利用中止した。貸付台数：47台 利用者数：1,080人		(1) 高齢者の地縁組織である高齢クラブは、超高齢社会の地域のコミュニティ・見守り隊・外出支援の担い手・介護予防の推進活動隊として、果たす役割はますます重要となっていくと推察される。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により活動ができずに新たな会員加入に向けた取組が困難だったことから、会員数の減少傾向、高齢クラブの解散につながる状況にある。 (2) 今後、高齢者人口に比例し訪問対象者の増加が見込まれるが高齢クラブの会員数が減少し会員の高齢化が進んでおり担い手の不足が懸念される。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 (2) は受託団体と持続可能性について協議していく。

9	所管室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（高齢者生きがい活動センター）
事業概要				
千里ニュータウンプラザ施設管理				
活動実績				
高齢者生きがい活動センターを有する千里ニュータウンプラザの施設管理。		年度	R2	R3
・決算内訳 合計 36,267千円 管理運営に係るサービス購入料（設計建設） 20,829千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理） 10,247千円 管理運営に係るサービス購入料（修繕） 3,565千円 光熱水費 1,625千円		決算額（千円）	32,889	36,267
※決算内訳における合計と各項目の費用との差△1千円は、四捨五入によるもの。		一般財源の比率（％）	100.0	100.0
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		特になし		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名